

○現状分析（日常の学習活動から見られる学習の定着状況）

1 年	授業規律に関わるルールは身に付いてきており、積極的に取り組んでいる。体力テストの合計得点では、男子は東京都平均より0.4ポイント高く、女子は東京都平均より2.9ポイント高くなっている。測定種目の中では、男女共に、持久走が低い傾向にあり、サッカー、バスケットボール、持久走などの種目で持久力を高めていく運動に重点を置く必要がある。
2 年	授業規律を守ろうとする姿勢が足りず、授業への取り組み方などで注意されることがある。体力テストの合計得点では、男子は東京都平均より0.9ポイント低く、女子は、東京都平均より1ポイント低くなっている。測定項目の中では、男女共に、持久走が低い傾向にあり、サッカー、バスケットボール、持久走などの種目で持久力を高めていく運動に重点を置く必要がある。
3 年	全体的に意欲的に取り組んでいるが、係を中心に自分たちで進んで授業を始めようとする積極性が足りないところがある。体力テストの合計得点では、東京都平均より1.3ポイント高く、女子は東京都平均より3.4ポイント高くなっている。測定種目の中では、男女共に持久走が低い傾向にあり、サッカー、バスケットボール、持久走などの種目で持久力を高めていく運動に重点を置く必要がある。

○指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> 話をしっかりと聞き、理解して、適切な行動をしようとする態度を育み、習慣化することが必要がある。 全身の機能を活かしながら運動を継続する能力（全身持久力）の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育係を中心に生徒同士での注意喚起を促し、自主的に授業に取り組む態度を育めるよう声かけをしていく。 毎時間、補強運動を工夫することで、体力向上とけがの防止に努める。また成長を積極的に評価し、意欲を引き出す。 サッカー、バスケットボール、持久走などの種目で、限られた時間に全力で走る運動を取り入れることで持久力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード活用し、自分や学級の授業態度を振り返らせたり、評価する時間を設け目標が達成できた生徒には他の生徒への声かけを促したりする。 授業や運動会などの体育的行事において成功体験を積みませ、体力を向上させることの意義を感じさせ、意欲を引き出す。
2 年	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで準備運動を行うなど自主的・積極的に授業に取り組む姿勢を育てることが必要である。 全身の機能を活かしながら運動を継続する能力（全身持久力）の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育係に責任をもたせ、積極的にクラスをまとめ、取り組ませるようにする。 補強運動を工夫し、走る場面を増やすなどして、体力の向上を図るようにする。また成長を積極的に評価し、意欲を引き出す。 サッカー、バスケットボール、持久走などの種目で、限られた時間に全力で走る運動を取り入れることで持久力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なことから難しいことへと段階的に指導を行うことで生徒全員がそれぞれの能力に応じて目標をもち、運動を楽しむことができるようにする。 学習カードを活用することで知識の定着を図る。
3 年	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え行動し、積極的に授業に取り組んでいこうとする姿勢を身に付ける必要がある。 全身の機能を活かしながら運動を継続する能力（全身持久力）の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技などを中心に多種目でチーム学習を行いチーム毎に話し合う時間を多く設け、自分たちで工夫して授業に取り組ませる。 毎時間、補強運動を工夫することで、体力向上とけがの防止に努める。また成長を積極的に評価し、意欲を引き出す。 サッカー、バスケットボール、持久走などの種目で、限られた時間に全力で走る運動を取り入れることで持久力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> チームのリーダーを毎時間かえさせるなど工夫し、全員が話し合いに参加できるよう努める。 授業や運動会などの体育的行事において、成功体験を積みませ体力を向上させることの意義を感じさせ、意欲を引き出す。